

【瀬谷区】令和元年第 3 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和元年 9 月 4 日 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
場 所	瀬谷区役所 5 階 大会議室 A
出席者	<p>【座 長】久保和弘議員</p> <p>【議 員： 2 名】花上喜代志議員、川口広議員</p> <p>【瀬谷区：40 名】森秀毅区長、石原孝副区長、 五十嵐吉光福祉保健センター長、 藤澤智明福祉保健センター担当部長、 井上義晃土木事務所長、ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 決算状況</p> <p>2 平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業の決算</p> <p>3 令和 元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業の執行状況</p>
発 言 の 旨	<p>花上議員：旧上瀬谷通信施設の土地利用については、地権者組織である旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会が横浜市に色々な提案をしていると聞いています。しかし、その提案は、瀬谷区民全体の提案ではないと思っています。瀬谷区民全体の意見を反映できる組織体制について、考えをお聞きしたいと思います。</p> <p>森区長：区民を代表した組織としては、12 地区連合自治会長等からなる瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会が組織されています。土地区画整理事業は、地権者の方々の了解が得られないと、事業が進められないため、都市整備局も旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会との調整をしてきたのだと思います。しかし、町づくりは地権者の方々だけで決められるものではありません。瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会を通じて、関係局に区民の意見を伝え、しっかりとその意見を反映させていきたいと思っています。また、区民の方にも、現在の状況をチラシ、リーフレット等で情報提供していきたいと思っています。</p> <p>花上議員：区役所組織としては、旧上瀬谷通信施設の土地利用について、どう位置付けているのでしょうか。</p> <p>森区長：現在は、区政推進課が所管しています。今後、様々な動きが出て</p>

きた場合には、増員も含め、検討していきたいと思います。

花上議員：国際園芸博覧会を横浜で、という取り組みが加速していくと思いますが、瀬谷区では、何か対応を考えていますか。

森区長：国際園芸博覧会については、開催区として、区民と一緒に盛り上げていきたいと思っています。懸垂幕や横断幕、旧上瀬谷通信施設のはらっぱで行うイベントを利用した広報。また、瀬谷区制 50 周年を絡めての広報等、機会あるごとに PR していきたいと思っています。

花上議員：瀬谷区制 50 周年のイベントや式典の準備は、計画通り進んでいますか。

森区長：非常に順調に進んでいます。協賛金も 150 万円を目標としていましたが、現時点で 600 万円を超えておりますし、記念切手も 1,000 シートを販売し、残りわずかとなっています。これは、区民の方々に賛同していただいている表れだと思っています。

花上議員：旧上瀬谷通信施設の土地は、旭区のエリアもあるので、旭区との連携が重要と思いますが、協議等はしているのですか。

森区長：旭区長ともよく話し合っていますし、両区の区連会長さんも話し合いをしていると聞いています。今後も密に情報交換をしていきたいと思っています。

花上議員：障害者地域生活支援事業の中で、車椅子サッカー選手を招いてイベントをするということですが、内容を教えてください。

門脇高齢・障害支援課長：映画「蹴る」を上映し、車椅子サッカーを通じての人間関係等、色々な問題をテーマに障害者理解を深めていただきたいと思います。また、映画監督や出演者をお招きして、トークセッションも行います。

花上議員：障害者の施設もまだまだ充分ではない状況なので、障害者の方々を支援するような話があれば聞かせてください。

門脇高齢・障害支援課長：ネットワーク活動として、「瀬谷区障害者地域自立支援協議会」を通じて、啓発事業等を進めているところです。また、健常者の方と障害者の方が、直に接することで、理解を深められると思い、障害者の方と施設の職員が自主製品を販売するという事業も展開しています。

花上議員：水害対策訓練はどのように実施されているんですか。

村上総務課長：水害対策訓練は、瀬谷第二地区に避難勧告が出たという想

定で、定期的に行っています。また、浸水想定区域に入っている大門小学校の児童が、瀬谷中学校に避難するという訓練も、新たな取り組みとして実施しました。

花上議員：瀬谷区内に5河川ありますが、浸水対策用の警報灯や警報ブザーがどの川のどの場所に設置されているか、資料をいただけますか。

村上総務課長：整理しまして、後日お渡しいたします。

花上議員：公園施設についてです。先日、公園にベンチが無く、お年寄り等が不便で困っていることを土木事務所に伝えたところ、すぐに対応していただき、皆さん感謝していました。他に公園について、どのような要望があるのか教えてもらえますか。

井深土木事務所副所長：色々なご要望をいただいています。例えば、ボールが飛んできてあぶないので、注意看板がほしい。ベンチがささくれているので、直してほしい。砂場の砂が少ないので、入れてほしい等、細かい要望が多いのですが、できるだけ早い対応を心がけています。

花上議員：公園でのルールで、ボール遊びが禁止という話を聞きますけど、軟球は無理でも、ゴムボールぐらいは良いのではないかと思うんですが、これは無理なんでしょうか。

井深土木事務所副所長：どのボールが良くて、どのボールが悪いというのは、なかなか難しいところですが、公園を利用されている皆様が迷惑に思わないように配慮していただければと思います。

花上議員：瀬谷区制50周年の記念誌は、どのような状況ですか。

八子区政推進課長：現在、各連合地区の会長さんのインタビューを整理しています。今後は、50周年の式典等、新たに編集していくものもありますので、発行時期は来年3月になると思います。

花上議員：商店街振興ということで、新しい取り組みはありますか。

岩上地域振興課長：一か月間だけでしたが、7月にグルメイベントを開催し、多くの方に商店街に足を運んでいただきました。今後は年間通じて、商店街に来ていただけるような事業を考えていきたいと思っています。

花上議員：区づくり推進費の事業が、非常に硬直化してきているように思うんですが、いかがですか。

森区長：区づくり推進費の予算編成にあたっては、毎年度ゼロベースから見直して、必要かどうかを判断しています。しかし、これまで実施してきた事業で廃止とする事業はあまりありませんでした。それは、その事業が、

今までも必要な事業であり、これからも必要な事業だということです。ただ、国際園芸博覧会の誘致等、毎年色々な動きがでてきます。このような動きには、各局と充分調整をし、各局から予算の配付を受けています。1億円弱の限られた区づくり推進費は、その必要性をきちんと議論し、最大限有効に使用させていただいています。

花上議員：今年は猛暑日が続きましたが、熱中症の状況はどうでしたか。

西川消防署長：今年の熱中症での救急搬送は、市内で1,098人でした。これは、前年同期と比較して、575人の減少となっています。熱中症の発症は屋外と屋内、大体50%ずつの比率になっています。屋内の発症原因は、エアコンが付いていないことが大きな要因になっています。

花上議員：細かい資料を後で下さい。屋内の発症原因は、エアコンが付いていないことだとすると、エアコンを付けるようなPR、取り組みはしているのでしょうか。

西川消防署長：エアコンを設置してください、というような広報はしていませんが、エアコンを積極的に活用してくださいという広報をしていますし、色々なイベント等を利用し、チラシを配布しています。

花上議員：瀬谷区は、消防団の定員数を超えたと聞いていますが、最近の状況はどうですか。

西川消防署長：現在、二人欠員になっています。ただ、先日、区役所と実施しました「こどもアドベンチャー」において、お二人、入団希望がありましたので、面談等の経過を待っているところです。

花上議員：瀬谷区内の企業にある自衛消防隊の状況はどうなっていますか。

西川消防署長：法律で定められている、自衛消防組織を設置する対象は、隼人高校と三ツ境ライフです。自衛消防隊につきましては、後ほど調べましてお知らせします。

花上議員：では、後で資料をください。

川口議員：瀬谷区の魅力には「自然との共生」というものがあると思っています。しかし、この「自然との共生」という言葉はあいまいな言葉でもあると思っています。区長はどのように考えていますか。

森区長：非常に難しい問題だと思います。瀬谷区には自然が多く、緑もあり、農地もあります。しかし、それに加え、横浜駅からも近く、東京などに住んでいる方が、ほっとしに来るには便利な場所でもあると思っています。

す。また、川も5本もありますので、緑と川、こうした地形を生かした町づくりが必要と考えています。具体的なお答えができませんが、緑と川、そして利便性というのがキーワードになるのかと思っています。

川口議員：旧上瀬谷通信施設のはらっぱを利用して、熱気球を上げるイベントを行うということですが、土地の所管は国なので、許可を得るのが非常に難しかったのではないかと考えています。どういう経緯で、あの土地を使用できるようになったのかを教えてください。

森区長：土壌調査が終わっていませんので、防衛省の局長とお話をしましたが、区役所が責任を持って使用するのであれば、ということで許可をいただきました。防衛省も地元の方と良い関わりを持っていきたいと思っています。

八子区政推進課長：これまでも、春には、お花見の時期に暫定開放をしていますが、今回は瀬谷区制50周年ということで、防衛省と話を進め、熱気球体験を実施できることになりました。

川口議員：災害時にフェイクニュースが流れ、町が混乱したという話を聞きますが、瀬谷区の場合、防災訓練の際に、フェイクニュースの危険性などの話はしていますか。

村上総務課長：現在実施している防災訓練では、フェイクニュースの話はしていません。

川口議員：大門川に、浸水警報装置が設置されたということですが、瀬谷区と接している大和市との連携はどうなっていますか。

村上総務課長：年度中に何度かお会いしたり、災害時には、お互いの情報交換をするなど、しっかり連携できるようにしています。

川口議員：区役所で、SNSはしていますか。

八子区政推進課長：ツイッターとインスタグラムをしています。

川口議員：ハッシュタグの瀬谷区は、ローマ字を使用していますか。国際園芸博覧会の誘致が決定した際には、世界の方が瀬谷区に関心を持つと思いますので、ぜひローマ字を使用していきたいと思います。

八子区政推進課長：ハッシュタグ等、検討し、加えていきたいと思っています。

川口議員：一人暮らしの高齢者の見守りツールとはどのようなものですか。

門脇高齢・障害支援課長：「安心カード」というものがあります。本人の氏名、家族の連絡先、かかりつけ医などが記入されたものです。今回は、自宅で倒れ、救急隊が駆け付けた時にその「安心カード」がどこに置いて

あるかを示す、マグネットカードを作成しました。これを冷蔵庫に貼って、利用していただきたいと思っています。

川口議員：このことは、消防署も把握しているのでしょうか。

西川消防署長：「安心カード」ができた段階で承知しています。また、現在は、旭消防署と泉消防署とも情報共有しています。

久保議員：昨日のゲリラ豪雨によって、土木事務所が対応したのは、3か所ですか。浸水被害ですか。

井上土木事務所長：3か所です。浸水被害だけでなく、瀬谷柏尾線での車の水没、マンホールの蓋が飛んだという話も聞いています。

久保議員：阿久和の交差点も大雨が降ると大変な状況になってしまいますが、瀬谷区全体の浸水対策はどうなっていますか。

森区長：最近、ゲリラ豪雨などの激しい雨によって、従来では大丈夫とされていたものも、そうではなくなるという懸念が生じています。区内に5河川もありますし、浸水対策は非常に重要だと思っています。境川には、防災スピーカーを4か所に設けるなど、やれることは随時やっていきます。また、地域防災拠点についても、夏の暑さ対策等、工夫していきたいと思っています。

久保議員：平成30年度決算で、災害対策事業費が予算を超過した理由はなんですか。

村上総務課長：昨年の台風の際に、避難所を開設しましたが、その後、体育館をより安全に、過ごしやすくするための物品を購入したために、予算を超過したものです。

久保議員：「瀬谷区シングルパパママ応援サイト」のインターネット向け、更新、発信というのは、どのような内容なのですか。

柴山こども家庭支援課長：瀬谷区は18区の中でもひとり親の世帯の比率が高いということもあり、平成28年に作成いたしました。自立に向けた、児童扶養手当のご案内ですとか、就職関連等、情報を整理し、関係するサイトに飛べるようにしてあります。

久保議員：「外国につながる子育て世帯の支援」というのは、外国人ということですか、外国ということですか、具体的にはどういうことなのでしょう。

柴山こども家庭支援課長：瀬谷区も徐々に外国につながる家庭が増えてきています。外国国籍の方で一番多い国は中国で、次にベトナムとなってい

ます。そういった方々に向けて、通訳を含めた支援者を子育て支援拠点に置き、区役所とのやりとりなどの際に、お手伝いをさせていただくという取り組みを進めています。

久保議員：利用状況、反響はいかがですか。

柴山こども家庭支援課長：平成 29 年度からスタートし、初年度は 6 件でしたが、平成 30 年度は 20 件ということで、良い反響がでていていると思っています。

久保議員：児童虐待防止対策事業の決算額が予算額を下回っていますが、取組等を教えてください。

柴山こども家庭支援課長：決算額が予算額を下回った理由としましては、研修会での講師に対する謝礼が当初想定していた金額を下回ったことによります。防止対策としては、瀬谷区内にも心配なご家庭が多いので、地域の皆さんにも、気づいたこと、気になったことがあれば、区役所につなげていただくというような取り組みをしています。

久保議員：公園に健康遊具が設置されていますが、区民の方から、近隣にある公園には、同じような健康遊具ばかりが設置されている。健康増進ということであれば、違う遊具を設置した方が良いのでは、というお話を聞きましたが、いかがでしょうか。

井上土木事務所長：公園に遊具を設置する際には、公園愛護会をはじめ、地域の方々に相談をするようにしています。そのため、公園のある地域の方々の考えが似てしまうというところがあります。今後は、地域の方々ともっとお話をしながら、進めていきたいと思っています。

久保議員：自殺対策ということですが、瀬谷区では何人ぐらい、自殺されてしまう方がいらっしゃるのでしょうか。

門脇高齢・障害支援課長：平成 29 年度に瀬谷区で自殺により亡くなられた方は 13 人でした。

久保議員：防犯啓発事業ですが、振り込め詐欺などの防犯について、考えを聞かせてください。

岩上地域振興課長：この事業は、警察、防犯協会と連携して進めていますが、昨年とくらべましても、減少していません。今後、ますます連携を密にして取り組んでいきたいと思っています。

久保議員：具体的に考えていることはありますか。

岩上地域振興課長：10 月に高齢者を中心として、瀬谷公会堂で集いを開催

	<p>し、詐欺に対する対策をお話する予定です。</p> <p>久保議員：交通マナーアップ事業ということでは、特に高齢者の自動車での暴走が問題になっていると思いますが、取り組んでいる啓発があれば聞かせてください。</p> <p>岩上地域振興課長：高齢者による自動車の運転については、シルバーリーダーにご協力いただき、各地区で啓発をさせていただいています。</p>
備 考	